



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月28日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン
 コード番号 2208 URL <https://www.bourbon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 財務管理部長 (氏名) 山崎 幸治 TEL 0257-23-2333
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	118,443	0.8	4,179	43.1	4,676	61.3	3,167	68.8
2020年3月期	117,551	△0.0	2,919	△34.4	2,899	△36.4	1,875	△39.8

(注) 包括利益 2021年3月期 3,461百万円 (83.8%) 2020年3月期 1,883百万円 (△34.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	131.84	—	6.4	6.0	3.5
2020年3月期	78.08	—	4.0	3.7	2.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	78,872	50,561	64.1	2,104.61
2020年3月期	78,050	47,664	61.1	1,984.02

(参考) 自己資本 2021年3月期 50,561百万円 2020年3月期 47,664百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	8,055	△5,635	△932	14,778
2020年3月期	3,389	△5,605	△2,500	13,260

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期 末	第2四半期 末	第3四半期 末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00	552	29.5	1.2
2021年3月期	—	11.50	—	12.50	24.00	576	18.2	1.2
2022年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00		18.8	

(注) 2020年3月期配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 1円00銭(創業95周年記念配当)

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,500	—	1,000	—	1,000	—	600	—	24.97
通期	94,500	—	4,700	—	4,700	—	3,200	—	133.20

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	27,700,000株	2020年3月期	27,700,000株
2021年3月期	3,675,613株	2020年3月期	3,675,613株
2021年3月期	24,024,387株	2020年3月期	24,024,387株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	115,607	1.7	3,875	47.3	4,159	43.6	2,764	42.7
2020年3月期	113,670	0.1	2,631	△30.8	2,895	△29.9	1,937	△32.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	115.05	—
2020年3月期	80.64	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	77,570	50,363	64.9	2,096.35
2020年3月期	76,974	47,848	62.2	1,991.67

(参考) 自己資本 2021年3月期 50,363百万円 2020年3月期 47,848百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 個別財務諸表	14
(1) 貸借対照表	14
(2) 損益計算書	17
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響で社会経済活動が停滞し、景気減速傾向が急激に強まりました。緊急事態宣言解除後、感染症対策を講じつつ緩やかな回復基調を見せたものの、宣言の再発出や終息が見通せない状況下で先行き不透明感が依然として続きました。

菓子・飲料・食品業界は、外出自粛を受けた在宅機会の増加による内食需要に支えられ堅調な推移をしたものの、雇用、所得環境の急激な変化や感染拡大の長期化による消費者心理の冷え込みから節約志向が続きました。

このような状況下で、当社グループは一貫して食品製造企業として品質保証第一主義に徹し、感染防止対策の徹底を図りながら、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と、消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を推進してまいりました。具体的には、働き方改革やニューノーマルへの対応のほか、健康志向の高まりやECチャネル需要の増加等による消費者の購買行動の多様化など、求められる価値の実現に機敏かつ柔軟に取り組みました。加えて、商品ブランドの強化と付加価値を高めた魅力のある商品開発に取り組むとともに、可能な範囲で最大限の店頭フォロー活動を続け、企画提案型の営業活動を通してお客様の満足につながる活動を推進してまいりました。

その結果、外出自粛の影響を受け伸び悩んだ品目があったものの、ビスケット品目を中心に大袋商品やロングセラー商品が順調に推移し、売上高は前期並みとなりました。

利益面では、営業利益は生産性の向上とコストの削減に加え、原料価格が安定的に推移したことから前期を上回りました。また、経常利益は為替差益を計上したことから前期を大幅に上回りました。そして、親会社株主に帰属する当期純利益は、設備等の減損損失を計上しましたが、投資有価証券売却益の計上などにより前期を大幅に上回りました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は、113,644百万円（対前期比101.2%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、ミニサイズで個包装したカステラ「ちいさなかすていら」を発売したほか、小容量高品質な食べきり商品として、小袋クッキー「PRESENT for ME」シリーズや「ロアンヌチョコクランチ」を発売し品揃えの強化を図りました。また、「チョコあ〜んぱん」シリーズや「エクセレントスイーツ」シリーズをリニューアルし、品質の向上にも努めました。加えて、季節に合わせた商品展開として、抹茶、バナナ、ゴールドンパイン&ゴールドキウイ、いも・栗、ホワイト、いちごなどの各種フェア商品を発売し、店頭での露出を高めたお客様を飽きさせない売り場づくりを提案しました。品目全体では大袋商品やロングセラー商品を中心として順調に推移しました。

豆菓子品目は、「味ごのみ」シリーズで季節ごとに限定商品を展開し、品揃えの強化とブランド認知向上を図りました。また、素材のおいしさを楽しむ「くつろぎバル」シリーズを発売し、多様化する消費者ニーズにお応えする商品展開を行いました。

チョコレート品目は、「ひとくちルマンド」にシリーズ品として、「ひとくちルマンドホワイト」「ひとくちルマンドマイルドビター」を発売しブランド強化に努めました。「アルフォートミニチョコレート」シリーズに「アルフォートミニチョコレートリッチミルク」を発売するとともに、コンテンツタイアップの新たなプロモーションと、消費者キャンペーンを展開しブランドの活性化に取り組みました。また、カップスナック商品群や「ブランチュールミニチョコレート」シリーズも品揃えの強化に取り組んだほか、家庭で過ごす時間が増えたことからお客様自身で製作する「プクマのお菓子のおうち」などに高い支持をいただきました。

さらには、「80kcal」シリーズや「チーズおかし」で使用していたプラスチックトレーを廃止し、環境負荷低減の取り組みを推進しました。

感染症拡大下において影響を受けた品目があったものの菓子全体では、前期を上回りました。

飲料・食品・冷菓・その他の合計売上高は、4,799百万円（対前期比90.9%）となりました。

飲料品目は、ミネラルウォーター商品群において人気キャラクターをデザインした商品や、地域復興応援商品「福島県只見線応援天然水」を発売しました。ルート限定商品として展開した「牛乳でおいしくホットなココア缶190」の取り扱いが拡大し好調に推移したものの、既存品が伸び悩み前期を下回りました。

食品品目は、スライス形状の食品シート「かんたんクッキング」シリーズのリニューアルを行いました。また、冬期限定の「スライス生チョコレートとちおとめショコラ」や、健康感を付与した「ちょこっと+豆乳きなこ」を発売し内食需要に向けた提案を行いました。加えて、粉末ココア商品の需要が増加したほか、防災意識の高まりから保存缶商品にもご支持をいただきました。機能性食品では、新ブランド「ナクア」シリーズを発売したほか、「ウイングラム」シリーズにおいて「プロテインパーキャラメルナッツクッキー（WG）」や「プロテインチャーゼンどうまめスナックレモン味（WG）」を発売し、健康志向のニーズにお応えする商品展開を行いました。品目全体では前期を上回りました。

冷菓品目は、“お菓子アイス”の取り組みとして「ロアンヌアイス」「ガトーレーズンアイス」「シルベヌアイス」を発売し、品目全体の底上げと品揃えの強化を図りました。「ルマンドアイス」シリーズに新商品を展開し認知の向上を図ったものの、競争激化の影響により前期を下回りました。

その他では、通信販売事業は家庭内需要に対応した新商品の詰め合わせセットや、ホワイトロリータ発売55周年を記念したオリジナルクリアファイル付きの詰め合わせセットを発売し、魅力的な品揃えに努めました。また感染症拡大の長期化に伴い、当社工場内で製造し事業活動において日々使用する、日本製の素材を用いたマスクの一般販売を開始しました。

自動販売機事業は、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響から、販売は伸び悩んだものの、多様な商品を取り扱うプチモールの設置台数の増加や、設置環境の選択による収益性向上と効率化に取り組みました。

酒類販売事業は、外出自粛によるお土産用受託商品の需要減少と輸出商品の伸び悩みの影響を受けた一方、既存商品の大幅リニューアルを行ったほか限定醸造商品を発売し、ナショナルブランド商品の認知向上に取り組みました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当連結会計年度の売上高は118,443百万円（対前期比100.8%）、営業利益は4,179百万円（対前期比143.1%）、経常利益は4,676百万円（対前期比161.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,167百万円（対前期比168.8%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は35,683百万円となり、前連結会計年度末に比べ665百万円増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加と商品及び製品の減少があったことによるものです。固定資産は43,189百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円増加となりました。

この結果、総資産は78,872百万円となり、前連結会計年度末に比べ822百万円増加となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は21,030百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,223百万円減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金と設備投資に伴う未払金の減少があったことによるものです。固定負債は7,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ149百万円増加となりました。

この結果、負債合計は28,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,074百万円減少となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は50,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,897百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上と剰余金の配当があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は64.1%（前連結会計年度末61.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は14,778百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,518百万円増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は8,055百万円（前期3,389百万円の収入、対前期比237.6%）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益4,377百万円、減価償却費4,490百万円および仕入債務の減少額630百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5,635百万円（前期5,605百万円の支出、対前期比100.5%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,767百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は932百万円（前期2,500百万円の支出、対前期比37.3%）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出200百万円、リース債務の返済による支出264百万円および配当金の支払額566百万円があったことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率（%）	57.5	55.3	57.9	61.1	64.1
時価ベースの 自己資本比率（%）	90.2	91.7	56.4	53.0	67.1
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率（倍）	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1
インタレスト・ カバレッジ・レシオ（倍）	517.0	1,088.1	1,349.5	381.6	1,554.0

自己資本比率 : 自己資本 ÷ 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 ÷ 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 ÷ キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー ÷ 利払い

（注）1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フローおよび利払いは連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の経済環境につきましては、国内外ともに回復基調で推移することが期待されるものの、社会経済活動において新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、感染症拡大前の状態に回復するには未だ時間を要するものと予想されます。加えて、金融資本市場や国際情勢の動向など、景気下振れリスクにも引き続き注視する必要があります。菓子・飲料・食品業界においては、内食需要の高まりから堅調な推移が予想されますが、引き続き市場への安定供給体制維持のほか、消費マインドの低下等に起因する節約志向や原材料価格の動向など、先行き不透明な状況への対応が求められると考えられます。

当社グループは、「利害相反する人を含めて、集団の生存性を高める」を経営理念として、食品製造企業として品質保証第一主義に徹するとともに、安定した原材料調達と安定供給体制の確立、IoT等を活用した最新の生産システムの構築、原材料のトレーサビリティ、フードセーフティーへの取り組み強化などを行い、安全、安心な品質を確保することでより一層の品質保証体制のレベルアップに取り組んでまいります。また、「心と体の健康づくり」をテーマに、食を通じた健康づくりの提供のほか、文化・芸術活動やスポーツ、次世代育成の支援活動にも取り組んでまいります。さらに、社会的にニーズが高まっている「健康」と、循環型の脱炭素社会の構築に向けた取り組みを新しいビジネスの展開や飛躍へのチャンスと捉え、持続可能な未来社会をデザインしていく健康増進総合支援企業として、社会への貢献とSDGsの課題解決を目指した活動を推進してまいります。

商品開発面では、当社グループの「薬食未病」の概念に基づく研究開発の強化・推進などを図る一方で、従来の発想にとらわれない新たな挑戦も継続してまいります。さらに、社会構造の変化やライフスタイルの変化、消費活動の多様化による新たなニーズへの対応、新しい原材料開発による高付加価値商品、高品質で実質価値の高い商品ブランドの育成、新カテゴリー商品の開発にも注力してまいります。

営業活動面では、お客様との接点である店頭を重視したマーケティングを通して、各流通チャネルのニーズや要望にお応えした積極的な企画提案ならびに新製品の開発を進め、顧客の期待を超える商品とサービスの提供を目指してまいります。また、自動販売機プチモールや通信販売などのダイレクトマーケティングのさらなる推進と、チルド商品や冷菓などの異なる温度帯商品の展開、グローバルマーケットを視野に入れた事業展開に加え、地域に密着した細やかな営業活動にも取り組んでまいります。

利益面では、時代の変化と要請とを先取りした新たな価値と需要の創造、生産性の向上とコスト削減活動、経費の効率的な使用、省資源・省エネルギー活動などの強化に加え、高品質・高付加価値商品による市場の活性化、効果的な販売促進活動などを行うことにより、一層の利益の確保に努めてまいります。なお、2022年3月期の業績予想につきましては「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用して作成しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,141	14,794
受取手形及び売掛金	13,066	12,987
有価証券	118	1
商品及び製品	4,599	3,919
仕掛品	555	518
原材料及び貯蔵品	2,796	3,016
その他	744	448
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	35,018	35,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,374	34,310
減価償却累計額	△17,009	△18,014
建物及び構築物 (純額)	15,365	16,295
機械装置及び運搬具	52,646	54,791
減価償却累計額	△41,569	△43,646
機械装置及び運搬具 (純額)	11,076	11,144
工具、器具及び備品	4,407	4,567
減価償却累計額	△3,986	△4,152
工具、器具及び備品 (純額)	421	414
土地	6,766	6,766
リース資産	1,240	1,468
減価償却累計額	△648	△630
リース資産 (純額)	591	838
建設仮勘定	1,845	500
有形固定資産合計	36,066	35,959
無形固定資産		
ソフトウェア	335	346
のれん	1,091	977
その他	61	61
無形固定資産合計	1,488	1,385
投資その他の資産		
投資有価証券	2,616	2,920
繰延税金資産	2,509	2,508
その他	350	414
投資その他の資産合計	5,476	5,844
固定資産合計	43,031	43,189
資産合計	78,050	78,872

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,744	10,117
1年内返済予定の長期借入金	200	200
1年内償還予定の社債	100	—
リース債務	248	278
未払金	3,435	1,961
未払費用	5,655	5,643
未払法人税等	944	1,042
賞与引当金	1,182	1,214
返品引当金	36	24
その他	707	547
流動負債合計	23,254	21,030
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	250	150
リース債務	392	637
繰延税金負債	504	504
役員退職慰労引当金	237	247
退職給付に係る負債	5,731	5,627
負ののれん	16	14
固定負債合計	7,131	7,280
負債合計	30,385	28,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	6,790	6,790
利益剰余金	41,140	43,743
自己株式	△941	△941
株主資本合計	48,025	50,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50	373
為替換算調整勘定	△314	△341
退職給付に係る調整累計額	△97	△99
その他の包括利益累計額合計	△360	△66
純資産合計	47,664	50,561
負債純資産合計	78,050	78,872

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	117,551	118,443
売上原価	69,011	68,156
売上総利益	48,540	50,286
販売費及び一般管理費	45,620	46,107
営業利益	2,919	4,179
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	62	60
助成金収入	37	189
為替差益	—	212
負ののれん償却額	1	1
その他	79	79
営業外収益合計	185	548
営業外費用		
支払利息	8	5
減価償却費	18	29
為替差損	153	—
その他	25	16
営業外費用合計	205	51
経常利益	2,899	4,676
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	0	165
特別利益合計	3	165
特別損失		
固定資産処分損	82	17
減損損失	0	408
災害による損失	26	—
その他	60	39
特別損失合計	168	465
税金等調整前当期純利益	2,733	4,377
法人税、住民税及び事業税	909	1,332
法人税等調整額	△51	△122
法人税等合計	858	1,210
当期純利益	1,875	3,167
親会社株主に帰属する当期純利益	1,875	3,167

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,875	3,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△241	322
為替換算調整勘定	84	△26
退職給付に係る調整額	164	△1
その他の包括利益合計	7	294
包括利益	1,883	3,461
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,883	3,461
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	6,790	39,792	△941	46,678
当期変動額					
剰余金の配当			△528		△528
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,875		1,875
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,347	—	1,347
当期末残高	1,036	6,790	41,140	△941	48,025

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	292	△398	△261	△368	46,310
当期変動額					
剰余金の配当					△528
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,875
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△241	84	164	7	7
当期変動額合計	△241	84	164	7	1,354
当期末残高	50	△314	△97	△360	47,664

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	6,790	41,140	△941	48,025
当期変動額					
剰余金の配当			△564		△564
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,167		3,167
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	2,602	—	2,602
当期末残高	1,036	6,790	43,743	△941	50,628

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	50	△314	△97	△360	47,664
当期変動額					
剰余金の配当					△564
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,167
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	322	△26	△1	294	294
当期変動額合計	322	△26	△1	294	2,897
当期末残高	373	△341	△99	△66	50,561

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,733	4,377
減価償却費	4,333	4,490
のれん償却額	114	114
受取利息及び受取配当金	△67	△64
負ののれん償却額	△1	△1
支払利息	8	5
為替差損益 (△は益)	125	△196
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△165
固定資産処分損益 (△は益)	78	17
減損損失	0	408
投資有価証券評価損益 (△は益)	58	38
売上債権の増減額 (△は増加)	989	79
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,349	498
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,344	△630
未払費用の増減額 (△は減少)	△215	△17
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	31	△106
その他	△1,217	239
小計	4,276	9,098
利息及び配当金の受取額	67	64
利息の支払額	△8	△5
法人税等の支払額	△945	△1,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,389	8,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,257	△5,767
投資有価証券の取得による支出	△213	△39
投資有価証券の売却による収入	2	322
関係会社株式の取得による支出	—	△20
その他	△137	△131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,605	△5,635
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500	—
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△250	△200
社債の発行による収入	—	99
社債の償還による支出	—	△100
リース債務の返済による支出	△222	△264
配当金の支払額	△528	△566
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,500	△932
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,755	1,518
現金及び現金同等物の期首残高	18,015	13,260
現金及び現金同等物の期末残高	13,260	14,778

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社グループの事業は、食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類等の菓子及び飲料食品等の食料品の製造・販売並びにこれらの付随業務であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,984円02銭	2,104円61銭
1株当たり当期純利益	78円08銭	131円84銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,875	3,167
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1,875	3,167
期中平均株式数 (千株)	24,024	24,024

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,282	13,656
受取手形	80	78
売掛金	12,750	12,746
有価証券	118	1
商品及び製品	4,144	3,491
仕掛品	484	456
原材料及び貯蔵品	2,398	2,601
前払費用	123	146
短期貸付金	1,364	1,497
未収入金	999	564
その他	46	76
貸倒引当金	△1,213	△1,341
流動資産合計	33,578	33,975
固定資産		
有形固定資産		
建物	29,048	30,999
減価償却累計額	△14,596	△15,629
建物(純額)	14,452	15,369
構築物	2,936	3,032
減価償却累計額	△2,045	△2,128
構築物(純額)	891	904
機械及び装置	51,564	53,583
減価償却累計額	△40,650	△42,584
機械及び装置(純額)	10,913	10,999
車両運搬具	190	196
減価償却累計額	△171	△177
車両運搬具(純額)	19	19
工具、器具及び備品	3,567	3,702
減価償却累計額	△3,198	△3,342
工具、器具及び備品(純額)	369	359
土地	6,747	6,747
リース資産	1,174	1,391
減価償却累計額	△617	△594
リース資産(純額)	556	797
建設仮勘定	1,844	500
有形固定資産合計	35,794	35,697
無形固定資産		
のれん	988	884
ソフトウェア	335	346
その他	60	60
無形固定資産合計	1,384	1,291

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,481	2,792
関係会社株式	998	981
出資金	2	2
関係会社出資金	0	0
関係会社長期貸付金	2,452	2,393
長期前払費用	3	87
繰延税金資産	2,192	2,178
その他	300	287
貸倒引当金	△2,215	△2,116
投資その他の資産合計	6,216	6,607
固定資産合計	43,395	43,595
資産合計	76,974	77,570

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,305	1,220
買掛金	8,823	8,460
短期借入金	1,395	1,597
1年内返済予定の長期借入金	200	200
1年内償還予定の社債	100	—
リース債務	236	264
未払金	3,248	1,746
未払費用	5,356	5,363
未払法人税等	893	945
預り金	487	461
賞与引当金	1,043	1,072
返品引当金	36	24
その他	159	1
流動負債合計	23,286	21,359
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	250	50
リース債務	366	606
退職給付引当金	4,969	4,829
役員退職慰労引当金	237	247
負ののれん	16	14
固定負債合計	5,838	5,848
負債合計	29,125	27,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金		
資本準備金	52	52
その他資本剰余金	10,012	10,012
資本剰余金合計	10,064	10,064
利益剰余金		
利益準備金	259	259
その他利益剰余金		
別途積立金	25,030	25,030
繰越利益剰余金	12,930	15,129
利益剰余金合計	38,219	40,418
自己株式	△1,538	△1,538
株主資本合計	47,782	49,982
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66	381
評価・換算差額等合計	66	381
純資産合計	47,848	50,363
負債純資産合計	76,974	77,570

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	113,670	115,607
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	3,079	3,944
当期商品仕入高	10,408	10,133
当期製品製造原価	57,368	56,359
合計	70,857	70,437
他勘定振替高	338	424
商品及び製品期末たな卸高	3,972	3,354
たな卸資産廃棄損及び評価損	27	23
小計	66,573	66,682
返品引当金繰入額	36	24
返品引当金戻入額	47	36
売上原価合計	66,562	66,671
売上総利益	47,107	48,935
販売費及び一般管理費		
販売促進費	26,512	26,979
運送費及び保管費	7,213	7,625
広告宣伝費	2,260	2,127
給料及び手当	3,421	3,395
賞与引当金繰入額	271	283
退職給付費用	186	167
減価償却費	613	590
のれん償却額	104	104
その他	3,892	3,786
販売費及び一般管理費合計	44,476	45,060
営業利益	2,631	3,875
営業外収益		
受取利息	15	21
受取配当金	60	58
受取賃貸料	514	518
助成金収入	26	112
貸倒引当金戻入額	177	—
為替差益	—	64
負ののれん償却額	1	1
その他	74	79
営業外収益合計	870	856
営業外費用		
支払利息	18	17
貸貸収入原価	485	488
貸倒引当金繰入額	—	29
為替差損	68	—
その他	34	37
営業外費用合計	606	573
経常利益	2,895	4,159

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	0	165
特別利益合計	3	165
特別損失		
固定資産処分損	81	17
減損損失	0	408
災害による損失	16	—
その他	60	39
特別損失合計	158	465
税引前当期純利益	2,740	3,859
法人税、住民税及び事業税	843	1,205
法人税等調整額	△40	△109
法人税等合計	802	1,095
当期純利益	1,937	2,764

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	11,521	36,810	△1,538	46,373
当期変動額										
剰余金の配当							△528	△528		△528
当期純利益							1,937	1,937		1,937
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	1,408	1,408	—	1,408
当期末残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	12,930	38,219	△1,538	47,782

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	295	295	46,669
当期変動額			
剰余金の配当			△528
当期純利益			1,937
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△229	△229	△229
当期変動額合計	△229	△229	1,179
当期末残高	66	66	47,848

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	12,930	38,219	△1,538	47,782
当期変動額										
剰余金の配当							△564	△564		△564
当期純利益							2,764	2,764		2,764
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,199	2,199	—	2,199
当期末残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	15,129	40,418	△1,538	49,982

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	66	66	47,848
当期変動額			
剰余金の配当			△564
当期純利益			2,764
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	315	315	315
当期変動額合計	315	315	2,514
当期末残高	381	381	50,363